

学校だより 7月号

平成 29 年 7 月 1 日
鴻巣市立小谷小学校

小谷っ子

TEL 048 (548) 1004
FAX 048 (547) 1467
URL <http://koya-e.konosu.ed.jp>
e-mail koya-e@city.konosu.ed.jp

【学校教育目標】 夢・希望にあふれる心豊かな児童の育成

何も考えずに言っていないませんか？人を傷つける言葉

～人の立場に立って言葉を使いましょう～

校長 渡辺 勝徳

梅雨の季節を迎え、お天気がすっきりしません。体調を崩している児童もいるようですが、皆様、お元気ですか？

ところで、先日行った立志式にはたくさんの保護者や学校評議員の皆様においでいただき、ありがとうございました。準備の段階からふりかえてみますと、本番当日まで6年生はまず自分の夢は何なんだろうと考えることから始めて、その夢をかなえるためにはどうすればいいのだろうかということ各自で調べ、ステージ上での発表に備えて体育館や教室でリハーサルを行ってきました。体育館で行ったリハーサルでは、担任がその様子を撮影し、後で撮影した様子をタブレットで一人ひとりがチェックし、本番に臨みました。本番では、緊張している中にも力強く自分の夢を語ることができました。そして、夢を実現するためにこれからどうしていこうかということも確認できたようです。また、見ていた1～5年生もほとんどの児童がしっかり聞くことができました。1～5年生には、自分の夢を考えるきっかけになってほしいと思います。



さて、立志式での発表の中には、素晴らしい言葉や夢や希望にあふれる言葉がたくさん出てきて、みんなをやる気にさせてくれましたが、日常の生活でその逆の言葉が児童の中で何気なく使われているということを知りました。先日、どんな状況での話しかはわかりませんが、クラスの中で「死ね」「消えろ」と言う言葉を言われた人がいると聞きました。「死ね」「消えろ」。これらの言葉は言われた人の存在を否定し、いなくなれという意味にとれると思います。世の中には生きてくても、そうでなく亡くなっていった人たちがたくさんいるのに……。こういう言葉が子どもたちの口から発せられていると思うと恐ろしいですが、子どもたちは、大人に比べて生活経験が少ないため、残酷なことを平気で言ってしまう。言うときは言われた人がどう感じるかを、そんなに深く考えていません。しかし、言う人は平気でも、言われた人はとても大きなショックを受けます。他人から言われるということはそういう影響があるのです。いなくなれということは、自分は生きている価値がないとか、この世にいらなくてもいい存在なんだなどと受け止めてしまいます。

言葉遣いや言葉については、相手のことを考えて、大事に使ってほしいと思います。学校でも言葉遣いや言葉について指導していきますが、ぜひ、ご家庭でも親子で言葉遣いや言葉について話し合う機会を持っていただければと思います。

<学校閉庁日のお知らせ>

- | | |
|----------|--|
| 1 期 間 | 8月14日～8月16日の3日間 |
| 2 内 容 | 日直を置かず、学校として対外的な業務は行わない |
| 3 非常時の対応 | 事故や災害等、緊急時の連絡は教育委員会へ
(544-1213 又は 544-1214) |

<平成29年度鴻巣市教職員全員研修会における教育講演会のご案内>

8月22日（火）鴻巣市文化センター・クレアこうのす大ホールにおいて、鴻巣市全教職員参加による研修会が開催されます。研修会では、一般の方も参加いただける教育講演会を予定しておりますので、ご案内させていただきます。

- | | |
|-----------|-------------------------------------|
| 1 開催日時 | 平成29年8月22日（火）10：35～11：45 |
| 2 会 場 | 鴻巣市文化センター・クレアこうのす大ホール |
| 3 教育講演会 | 講演内容につきましては、詳細が決まり次第お知らせいたします。 |
| 4 駐車場について | 自家用車でお越しの際は、会場の関係で鴻巣市陸上競技場をご利用ください。 |